

## 第 112 回東葛しぜん観察会

### ネイチュア・フィーリング 春さがし

片岡真智子（野田市）

日 時：2015 年 4 月 19 日（日） 天気：曇り

場 所：千葉県立柏の葉公園（柏市）

参加者：障害者 7 名、ガイドヘルパー 5 名、オブザーバー 1 名、指導員 20 名

担当指導員：片岡、川瀬、西池

10 年以上前から視覚障害者と繋がりがあるボランティアをしています。常々一緒に自然を楽しめればよいなと考えていました。今年度の活動計画の話し合いで、ネイチュア・フィーリングを取り入れることになり、昨年秋の協議会研修や NACS-J の講習を受講した者が担当することになりました。準備を始めて、担当を受けたことに「なんと無謀な」と後悔しきりでした。そんな時、先輩会員には親身になって相談にのってもらい、適切な助言も助かりました。新宿御苑で毎月開かれている観察会の体験にも一緒に出掛けました。下見の折には皆でアイマスクを使っての練習をして当日に備えました。

天気予報によれば「午前中は薄日がさす」とのこと、まずは一安心。9 時過ぎにバス乗り場の様子を電話で確認、「全員集合しています」の返事に「ホッ」。実は個人的にはこれが一番心配だったのです。あとは参加者に楽しんでいただければ全て好しです。

参加者 12 名が 3 つのグループに分かれてから 2 時間弱の予定で観察を始めました。最初に公園の遠景を話し、今立っている場所をイメージして貰い「郷土の森」の中を歩きました。ドングリにもいろいろある、葉っぱもいろいろ、野草の名前の面白さ、樹皮の感触（若いかな？）クスノキの名前当て…。最後にタンポポやカラスノエンドウの笛を鳴らして終わりです。班ごとに雰囲気や関心事も異なり盛り上がった話題は様々だったようです。

「今度は季節を替えて」「樹木以外に鳥や花も一緒に」「次は〇〇公園で」という感想を聞いて、皆さんに楽しんでいただけたようでうれしくなりました。視力を補う指の感覚、臭覚、聴覚、どれも研ぎ澄まされていて驚かされました。ガイドの仕方も教わり、指導員にも得るところが多い観察会になりました。「ネーミングが内容を伝えきれなかったのでは？」とか「障害の程度はさまざまなので、前もって尋ねておいた方が丁寧な案内が出来たのではないか」とか、反省点は山積みですが、オブザーバーとして参加いただいた木村さん（協議会研修の講師の一人）から「多分、千葉県では初めての試み」とお聞きして、担当者 3 名は頑張り甲斐があったと感じました。

20 名の指導員の力添えのお蔭で、無事に終えられたことに感謝 感謝です。



コナラの新芽の手触り、樹肌のザラツキや温もりを感じ～